

ご清聴ありがとうございました。

会 員 の 声： 佐藤 弘志

♪もうー5日寝るとゴルフだよ♪

2月18日・19日、我がロータリークラブゴルフ会の福島遠征ゴルフである。待ちに待ったゴルフが急病で行けなくなった。残念、2月13日夕食を取った後、急にお腹が痛み出した。こんなひどい腹痛は初めてである。夜中に会長の山本先生にお願いしようと思ったが夜中で悪いと思い、腹薬や風邪薬を飲み朝までガマンした。幸い朝方、痛みも和らぎ眠ることができた。何も食わず土曜日の12時頃、近くの医院に行き、レントゲン、血液検査を受け診察してもらったところ、かなりの炎症反応があると言われ、「私の手に負えないから、明日日曜当番病院の済生会病院に紹介状を書くから良く診てもらいなさい」といような薬をもらい翌日済生会でCTや血液検査を受けた結果、小腸と大腸の2ヶ所でかなりの炎症があり飲食をすると痛みが出ると言われ3日間何も食わず薬を飲むだけの生活であった。医師の診断が出るまでの間、後悔する事しきりである。何とバカな事をしたのか、暴飲・暴食そして寝不足、又昨年末からの仕事上のストレスいろいろ重なって体調が悪かったところに食物等から雑菌が入り炎症が起きたらしい。

もう無理が利かない58歳である。心穏やかに、節制を心掛け毎日を有意義に活動したいと自分に言い聞かせている今日この頃である。

ゴルフ同好会の皆さん体調もよくなりましたので又誘ってください。

四つのテスト

— 言行はこれに照らしてから —

- | | |
|------------|------------------|
| I 真実かどうか | III 好意と友情を深めるか |
| II みんなに公平か | IV みんなのためになるかどうか |

3月9日例会：クラブフォーラム「会員増強」

3月16日例会：エレクト研修報告会

3月23日例会：新入会員卓話 丸山達夫会員

3月30日例会：夜例会 於三条ロイヤルホテル 午後7時点鐘

卓話 梨木美裕樹様

4月6日例会：「ロータリー雑誌月間」

4月13日例会：地区協議会報告会



Lend a Hand

会長／山本 賢

幹事／西山 斉

SAA／小林 繁男

三条北ロータリークラブ週報

手を貸そう

例会日
2004. 3. 2
累計 No 840
当年 No 33

国際ロータリー会長 ジョナサンB.マジアベ 第2560地区ガバナー 原 信一
ホームページ <http://www.rotary2560.net>

例会日／火曜日 12:30～13:30

例会場／三条ロイヤルホテル TEL34-8111 FAX34-8114

事務局／三条市西四日町3-15-34 ヒューマン・ハーバー内

TEL35-7160 FAX33-8972

メールアドレス north@sanjo-nrc.org ホームページ <http://www.sanjo-nrc.org>

行 事： 卓話「僕の進路」ズバエル・ロニー君

出 席： 本日の出席 60名中 44名

先々週の出席率 60名中 48名 80.0%（前年同期81.67%）

先週のメイクアップ： 2月25日 三条RCへ 中條耕二さん、石川勝行さん、山口龍二さん

25日 フィリピンRCへ 高橋彰雄さん

26日 燕RCへ 石川勝行さん

28日 R財団セミナー（長岡） 岡田 健さん

29日 会員増強セミナー（長岡）（敬称略）山本 賢、中條耕二

米山忠俊、大野新吉、佐藤義英

梨木建夫、山上茂夫、五十嵐 茂

今村 泉、阿部 勝子、米山キクエ

ゲ ス ト： 米山奨学生 チュドリー、エムディ、ズバエル、アクトル君

ビ ジ タ ー： なし

会 長 挨 拶： 山本 賢会長



日本をはじめアジア各国で鳥インフルエンザが猛威を振るっておりま
す。今日はそれに関連してウイルスの話をしたいと思います。

感染症の原因は目に見えない微生物で、その種類も細菌、真菌、ウイル
スなどと多彩であることがわかったのは、19世紀～20世紀かけてという、
ほんの最近です。病原体の性質が理解されるに従い、いわば微生物側の一
人勝ちの状態から血清療法、ワクチン接種、抗生物質療法による人類の戦
いの時代が展開していったのです。

ウイルスは、典型的な寄生生物であり、生きた細胞に感染するしか増殖する道はなく、生体の外部
に出たウイルスの寿命はそう長くはありません。ウイルス病が広がるのは、感染した動物が動き回
り、フンや体液、呼吸などでウイルスをまき散らすからです。

A型インフルエンザウイルスは毎年流行し、第一次世界大戦中に起きたスペイン風邪では、わずか数年で何千万人という人々が命を落とし、また、エイズウイルスは欧米各国から今やアフリカ、アジアに広がって世界的な問題となっています。これらはいずれも極めて変異しやすいRNA型ウイルスです。

現在、ヒトまたは動物に重篤な疾病を起こし、直接または間接に感染を起こしやすく、危険度のものとも高いレベル4のウイルスには、コンゴ出血熱ウイルス、エボラ出血熱ウイルス、黄熱病ウイルスなど全部で9種類あります。

アメリカでは5年程前、アフリカで生息していた西ナイルウイルスが突然上陸し、今もなお感染ルートを全土に広げています。西ナイルウイルスは日本脳炎ウイルスに近いといわれております。

これらの新しいウイルスの流行は、ヒトがこれまで立ち入ったことのない地域に入り込んだことと深い関係があると思います。人間の都合で「それいけ、どんどん！」と森林を伐採し開拓することによって、森から追い出され行き場を失ったサルやトリなどが今まで潜んでいたウイルスを運んでくるからだと思います。

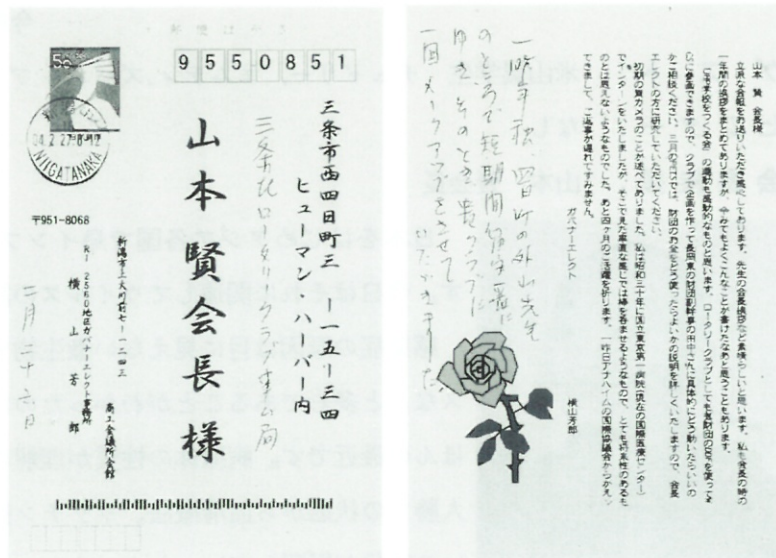
グローバル化が進む現代では、まさにウイルスがいつ、どこに、どのように出現するか分かりません。動物達と共存していかなければならない時代の中で、人間の傲慢さが作った災いを皆さんはどのようにお考えでしょうか。

三条北ロータリークラブ 山本 賢会長様

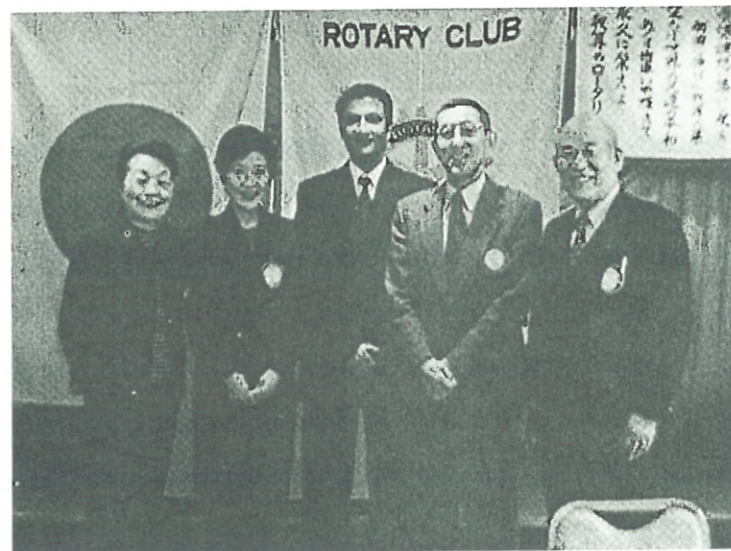
立派な会報をお送りいただき感謝しております。先生の会長挨拶など素晴らしいと思います。私も会長の時の一年間の挨拶をまとめておりますが、今みてもよくこんなことが書けたなあと思うこともあります。

「JHP学校をつくる会」の運動も感動的なものと思います。ロータリークラブとしても財団のDDFを使ってWCSに参画できますので、クラブで企画を作って長岡東の財団副幹事の田中さんに具体的にどう動いたらいいのかご相談ください。三月のPETSでは、財団のお金をどう使ったらよいかの説明を詳しくいたしますので、会長エレクトの方に研究していただけてください。

初期の胃カメラのことが述べてありました。私は昭和三十年に国立東京第一病院（現在の国際医療センター）でインターンをいたしました。そこで見た率直な感じでは棒を吞ませるようなもので、

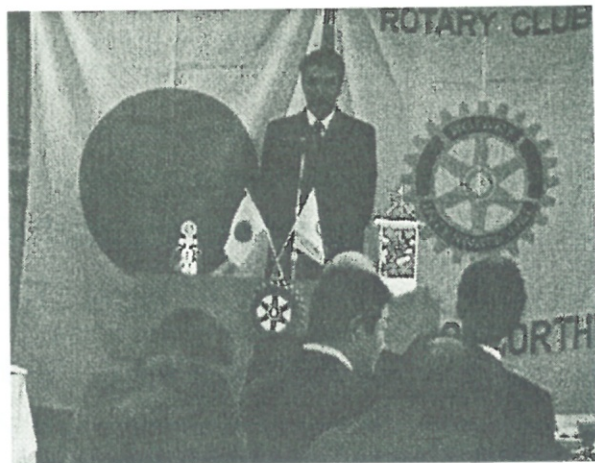


た。最初の一年間は日本語の勉強だけでした。僕の学生時代の一番楽しい時期は文化外国語専門学校



・ロータリアンの方々と僕

で過しました。世界のほとんどの地域から人々と触れ合い、とても貴重な体験でした。2000年3月に日本語学校を卒業して、日本電子専門学校に入学し、電気工学を専攻しました。そして、2002年の4月に今の大学、長岡技術科学大学に編入しました。長岡のきれいな景色、大学キャンパスの前に並んでいる山を見て感動しました。



卓話の風景

これからの夢：

僕は4月から神奈川県にあるIT会社に勤めますが、日本で学んだ技術、体験する実務の経験を活かして自分の国でに会社を設立したいと考えています。これは35歳までに実現し、45歳までに財閥化したいと夢を見ている。この様な大きな夢をみっていますがこれらの一部は日本で実現したいと考えています。

学生時代の最後一年はロータリークラブそして、三条北ロータリークラブにいろいろお世話になりました。人生に成功したロータリアンの方々のこの触れ合い、この交流は僕に人生の一つの柱になってくると確信しています。どうぞ、これからも健康で、そして長生きしながら世界平和に貢献をし続けて下さい。今日はこの辺で失礼します。